

アグリワークポイント AGRIWORKPOINT



低温に注意しましょう

茶指導販売課 菊川



寒害を受けやすい茶園

いよいよ冬本番です。今月は、一年間の気象やその影響による病害虫の発生量・生育状況などを振り返る時期になります。茶園を観察する際、収量・品質向上にむけた管理がしっかりとできていくか見直してみましよう。

先月号では**寒害**とその対策について紹介しましたが、条件によっては被害を受けやすくなることもあります。以下のような茶園では、特に注意が必要です。

- (1) 病害虫の被害を多く受けている茶園
- (2) 秋整枝後、気温上昇の影響などによって**再萌芽**した茶園
- (3) 山間地などの標高が高く、気温が下がりやすい茶園
- (4) 冷たい空気が溜まりやすい**低地**などの茶園など

今年の12月は晴れの日が多くなりますが、例年よりもやや気温が低下する予報です。また、気温は**標高が100m高くなると約0.6℃下がる**といわれていますので、山間地の茶園では特に注意が必要です。

茶園観察のポイント

JA大井川管内では例年、12月初旬に生産技術向上・情報共有などを目的に、**茶園共進会**を開催しています。その中の審査項目を一部紹介しますので、各茶園での管理を見直してみましよう。

【栽培管理】

病害虫防除・除草などは茶園を観察し適期に行いましよう。

特に整枝作業は気象状況を良く見て行うことが大切です。

【土づくり】

畝間の耕うんや有機物の施用によって排水性、保水性、通気性のよい土を作ることが大切です。

【根の生育】

根量・みずみずしさがあり、広く分布していると肥料を吸収しやすくなるため収量・品質などにも影響することがあります。